

■ グループ紹介

出光興産(株)

我が社は、明治44年創業以来、「和」の精神と「人間尊重」の経営理念に基づき、事業を通じて社会に貢献することをモットーに成長・発展をとげてまいりました。現在は、全国に25支店、20出張所、約8,600カ所の給油所、約6,000カ所のLPガス販売所を擁し、年間売上高は約3兆円、業界第二位の販売シェアをもつ石油会社です。

さらに、我が社は石油化学、石油開発にも進出しておりますが、将来のきびしいエネルギー事情を見通し、石炭・ウラン・地熱などの代替エネルギーの開発に積極的に取り組み、総合エネルギー会社たるべく活動しております。

1. 石油

我が社は、全国に6カ所の製油所を主要需要地に配置し、石油開発から原油の輸入・石油精製・配送を一貫して出光の手で行い、全国いたるところで消費者と直接結びついた販売、すなわち「大地域小売業」を実施しております。さらに、一步進んだ石油製品を世に送り出すための総合研究機関である「出光中央研究所」をはじめ、実用実験を通して消費者の要望する潤滑油を生み出す「出光営業研究所」、そして車に関する高度な技術サービスを身につけ、消費者に信頼されるSSメンバーを育成する「出光中央訓練所」などを配置し、消費者の真に要望する石油製品、サービスを安定して提供していくために、万全の体制を整えております。

2. 代替エネルギー

代替エネルギーの開発は、昭和52年6月の新燃料室（現在新燃料部）の発足に始まります。我が社は、消費者にエネルギーの供給責任を果たすために、石油のみならず代替エネルギーの開発にいち早く着手し、現在は、石炭・ウラン・地熱を三本柱に、資源開発、販売そして技術開発まで手掛け、総合エネルギー会社としての地歩を固めております。さらに、合成燃料（石炭液化・オイルシェール・オイルサンド等）およびバイオマスを中心とした再生可能エネルギーの技術開発についても、積極的に取り組んでおります。

2.1 石炭・ウラン

我が社は、代替エネルギーへの取り組みを開始して以来、昭和55年から買戻販売を開始し、さらに石炭開発プロジェクトに参加して、探鉱・企業化調査を実施

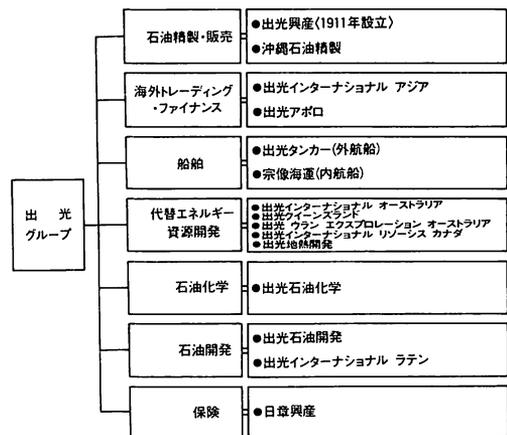
しております。具体的には、カナダ・アルバータ州で2つの合併事業を行っております。まずフォーディングコール社との合併は、すでに開発事前調査を終えており、一方のマナルタコール社との合併事業は、調査の最終段階にあります。また、オーストラリアにおいては、クィーズランド州のエンシャムプロジェクトに参加することが決まっております。

ウランは、オーストラリア・ダーウィン地区とカナダ・サスカチュワン州で、それぞれ合併事業方式で探査を進めておりますが、いずれも具体的な開発までにはあと数年以上かかる予定です。

2.2 地熱

我が社は、昭和53年から全国的に概査を開始しました。概査の結果、更に有望な地域を選び、その中から社会環境などに問題がなく、開発可能な地域を数カ所選定して、現在順次調査井を掘るなど開発の可能性を探っております。

こうした調査の中から、大分県九重町の滝上地区では、小口径調査井で蒸気の連続噴出に成功しております。さらに、今年から大口径の調査井を6本掘削し、リザーバー（地下熱水貯留層）の評価と生産井のテストを行い、商業化の可能性を探ることとしております。出光としては、地元電力会社と協力して、昭和63年度をメドに、出力5万kwの地熱発電所の運転開始を目指しております。



所在地：〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1

(文責：宮野明光)